

第3回 江戸川区男女共同参画推進区民会議

日 時	平成29年1月20日（金）14時00分～15時00分	
場 所	江戸川区役所 4階 第1委員会室	
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 「江戸川区男女共同参画推進計画（第2次）」策定に向けての提言（案）について （1）提言（案）の説明 （2）各委員からの意見 4 その他 ・今後のスケジュール 5 閉会	
配 付 資 料	会議次第 「江戸川区男女共同参画推進計画（第2次）」策定に向けての提言（案）	
区 民 会 議 委 員	会 長 横山 和子 副会長 浦岡 由美子 委 員 高橋 正明 森本 勝也 加納 志野 中村 厚子	池田 絵里 井田 佳男 蓮沼 祥之 見山 ミチ子 高橋 淳子 原島 裕紀
事 務 局	経営企画部企画課・子ども家庭部児童女性課	

< 議事要旨 >

1 開会

事務局

- ・挨拶・資料確認

2 会長あいさつ

- ・会長あいさつ

3 「江戸川区男女共同参画推進計画（第2次）」策定に向けての提言（案）について

（1）提言（案）の説明

事務局

- ・資料説明

(2) 提言(案)についての意見

《各委員の意見》

私たち自治会では運動会などのイベントが盛んであるが、以前は、イベント終了後の反省会への参加は大半が男性で、女性は子どもや夫を家庭に置いて参加することが難しかった。子どものためにハンバーガーを用意し、反省会に家族全員で参加できるように工夫をしたところ、女性の参加が増えた。家族一緒に地域交流を行うことで、若いお父さんやお母さんが地域行事に積極的に参加するきっかけになった。また、町会組織を「青年部」と「女性部」から、「青年女性部」に一本化することで、夫婦で参加する方が増え、組織の安定化につながった。このような工夫やきっかけづくりにより、若い方が地域活動に参画して活性化につながってきている。特に防災活動については子ども会の参加も含め、多くの地域の方が参加できるような体制が整いつつある。

過去2回の区民会議で様々な意見交換を行ったものが、提言(案)として立派な冊子となり感慨深いものがある。ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画について、会社経営をしている女性の立場から、日々、課題に感じて取り組んでいることを上手にまとめていただいたと思っている。

男女問わず働くすべての方が、働きながら子育てをしている女性の問題を自分の問題として捉え、相手を受け入れる取組みを実行することが、男女共同参画の問題解決への近道である。

個々の状況に応じて臨機応変な働き方ができる社会になれば、女性も働きやすくなり、女性が能力を発揮することにより会社も恩恵を享受し、家庭の子どもたちも健やかに育っていくと思う。

提言(案)の5頁に「江戸川区のさらなる魅力を高めていく」とあるが、近年、他区でも子育て支援をしている中で、江戸川区の魅力とは何かを考えると、地域力、下町的な魅力、人の繋がりだと思う。多くの方が様々な立場で地域に携わり、地域のために行動することで、もっと区の魅力を高めることができると感じる。

提言(案)については区民会議の内容を活かしていると感じる。また、学校教育が果たすべき役割が盛り込まれており、改めて教育の中でどのようなことをしていくべきなのかを考え、実践していかなければならないと気を引き締めている。

教育現場で男女共同参画に対する正しい知識や意識を育むことが重要であるが、学校教育を離れた場面では男女間の差別や偏見等が増幅する傾向も見受けられる。卒業後

も若年世代に対して啓発活動を継続的に行うとともに、現在の社会の中核を担う世代の固定的な考え方に対し、意識改革や具体的な方法等を検討していかなければならない。

提言（案）については、非常によくまとめていただいたと感謝している。先日、東京都女性活躍推進大賞の表彰があったが、そのような活動をもっと周知・啓発するとよい。

最近問題とされている、ひとり親家庭の子どもの孤食問題や人権問題等について、安心できる相談体制を整えることが非常に大事である。相談者の希望を尊重し、関係機関との情報共有による支援を実施していかなければならない。

提言（案）が非常にまとまりわかりやすくなった。ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの支援について期待している。江戸川区は子どもが多いイメージがあり非常にブランド力が高いと思うので、さらに子育てをしながら働きやすい、育児も家事もしやすいイメージをつくっていただきたい。

LGBTについてよくまとまっており、特に用語説明は非常に苦労されたと思う。実際の提言書はもっとさらに充実させて、解説するページや資料をたくさん付けていただきたい。また、女性センターの名称の変更もお願いしたい。

提言（案）について、私たちが話したことがわかりやすくまとめられていると思う。福祉の現場の会員は女性が非常に多いが、役員は男性が中心である。さらに働きやすい職場にするためには、私たち女性自身が変わっていかなければならない。事業主や職場の従業員に対し、もっと男女共同参画について啓発をおこない、若い世代の女性が心豊かに活躍できるような環境を広めていただきたい。

現在、本区の区立小学校PTAの会長71人のうち女性は5人である。地域が学校を育て、学校が地域を育てるという意味では、男女共同参画の視点からも、こうした立場に女性の活躍を広げることが大事である。また、消防団の活動で「女性は危ないから下がりなさい」という場面があり、防災活動でも女性の参画が難しい場面があると感じることがある。

女性が活躍するためには保育所も重要だが、中小企業の事業主に対して社員が子ども連れで職場に出勤できる環境を整えられるよう推奨してはどうか。さらに企業内保育所の助成制度等の支援も必要ではないか。

提言（案）では労働者の立場の意見が、すばらしい提言になっていると思う。男性に男女共同参画の理解が深まり、早く帰宅して家事や子どもの世話をするように促す管理者が増えればよい。女性も役職や管理者は男性の仕事として考えず、自分自身を高めるため積極的に意思決定過程の場へ参画する女性が増えることを願う。

提言（案）について、非常にまとまりのある内容だと感じている。

企業内保育所の整備については、既に補助制度があるが、あまり企業に対しては啓発されていないので、もう少しアピールした方がよいのではと感じた。

最近、「働き方改革」という言葉をよく耳にするが、この提言（案）に「働き方改革」という言葉が出ていない。商工会議所ですす提言書や冊子をつくる際には役所、政府の方針に対応している。

提言（案）について非常にわかりやすくまとめていただいたことに感謝する。特に、DV等で悩んでいる人、DVということについて意識がない人への啓発活動について書いてあるので非常によかった。

提言（案）の中の「事業主に対する意識改革の促進」について力を入れていただきたい。

4 その他

事務局

・スケジュール説明

会長

みなさまから活発なご意見を出していただき、本当に感謝している。本日の会議で提言書をまとめることに至った。これまでの協力に感謝する。これにて、江戸川区男女共同参画推進区民会議は終了する。

5 閉会

（閉会）